

1 家庭・地域における子ども読書活動の推進

(1) 家庭における読書

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
1	「おやこでおはなし会」	子育てに関する様々なテーマのひとつとして、絵本の読み聞かせを親子で一緒に楽しみ、子どもと本の出会いの大切さを伝える講座を行う。	拡充		実施回数	2回	ESDとよなか主催で定例の0～2歳児のおはなし会と同時開催するかたちで年齢別に2回に分けて行った。絵本の読み聞かせの後、グループごとにファシリテーターが入り、保護者同士が情報交換を行ったり、育児のことを話し合ったりする等、普段よりさらに参加者が親密になる機会を設けることができた。	地域教育振興課 市立図書館
2	リーフレットの作成、配布	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットを作成して、産婦人科・小児科医院などに配布する。また、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室の機会も活用する。 〔158をご参照ください。〕	新規				18年度に作成した「赤ちゃん向け絵本の紹介冊子」の一部改訂を行った。19年度は新たなリストやリーフレットは作成していない。小児科医院などへは市立図書館が作成した絵本リスト「赤ちゃんと楽しむえほん」を配布することで調整している。	健康づくり推進課 市立図書館
3	親子読書会	保護者と子どもが自分の読んだ本、好きな本について語り合う会を開く。	新規				取り組みについては未実施であるが、PTAの会議などで子ども読書活動推進計画実施計画の取り組み内容を説明し、周知する機会を設けている。	小・中学校 PTA連合協議会 市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
4	図書館のPR	おはなし会などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。	拡充				おはなし会や図書館の行事を行う機会に、子どもや保護者に向けて、図書館が気軽に絵本や読書についての相談ができる場であることを継続的にPRすることが大切である。また、授乳スペースの確保など、乳幼児を連れて来館しやすい環境を整備することも課題となる。	市立図書館 おはなしボランティアグループ
5	新1年生へのPR	「新1年生ピラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔142にも掲載しています。〕	継続		配布枚数	3,733枚	図書館のPRおよび利用促進のよい機会となっているので、学校司書と連携しながら今後も継続していくことが必要。	市立図書館
6	家庭への情報提供	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔109、141にも掲載しています。〕	継続				ホームページでの本の紹介は実施している。ケーブルテレビでの本の紹介は未実施、今後検討していく。	市立図書館
7	「子ども対象事業一覧」の活用	各々の公共施設で行われている子ども対象事業をまとめたリスト(毎月発行)を活用して、子どもの読書に関する事業についてのPRを関係部局と連携して行う。	継続		発行回数	12回	学校や公共施設等に月間予定表を毎月配布した。ただし、各部局で行われている行事を把握するのは難しい上、行事は「広報とよなか」等に毎月掲載されているため、今後は見直しをはかっていく。	地域教育振興課

(2) 地域における市民活動

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
8	乳幼児向けおはなし会	校区福祉委員会で実施している子育てサロンで乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出しを行う。 子育てサロン38校区実施 (18年3月現在)	拡充		件数 参加人数	16回 531人	実施を希望する校区福祉委員会の子育てサロンにて各年1回開催。平成19年4月現在サロン数38。	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 市立図書館
9	絵本講座の開催	子育てサロン・子育てサークルで絵本講座を開催する。また、その場において、子どもや子どもの読書に関する情報交流も行う。	拡充		回数 参加人数	8回 219人	18年度に引き続き、実施を希望する校区福祉委員会の子育てサロンで開催。講座の中では実際に絵本やわらべうたなどを楽しんでもらったり、読書に関する講座などの情報提供を行った。今後は、こども読書マップなどを活用し、身近な施設や団体の情報を伝え、フォローしていく必要あり。	市立図書館 豊中市社会福祉協議会
<p>「1歳未満の赤ちゃんも興味深々、びっくりしました。」 「絵本はこどもが小さく無理と思っていたが、親の方が楽しさを教えてもらった。これから親子で楽しみたい」 (広報広聴課出前講座アンケートより)</p>								
10	「地域子ども教室」	学校や図書館等で地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作づくりなどを通して読書や図書館利用を進める。	拡充		回数 参加人数	1,799回 115,073人	市内38ヶ所(36小学校区、2公共施設)で週1回程度、子どもが地域の大人と交流しながら学校では体験できない様々なことを学んだ。	地域教育振興課 市立図書館
11	講演会の開催	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。	継続		回数	3回	・私立幼稚園の保護者会で絵本に関する講座を実施。 ・小学校のPTA主催で、落語家による講演会を実施。 ・豊中市職員組合/毎日新聞社主催、豊中市PTA連合会共催による「読み聞かせ」シンポジウムを実施。 児童文学者・絵本作家による講演やアナウンサーによる読み聞かせ、市民も参加してのシンポジウムなどが行われた。	地域教育振興課 市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
12	ボランティアセンター登録者への情報提供	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。	継続				ボランティアセンターにて読書活動ボランティアに関する講座などの情報提供を行った。	豊中市社会福祉協議会 市立図書館

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
13	絵本等の貸出	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出しができる環境を整える。	継続		校区数	4校区	子育てサロンでのおはなし会や絵本講座と連携して実施箇所を広げる必要性がある。	豊中市社会福祉協議会 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
14	グループ連携活動	公民館と図書館にはそれぞれボランティアグループやサークルがあり、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。	新規				庄内公民館登録グループ「読み聞かせ広場わくわくぼけっ」とが地域にて読み聞かせグループとして自主的に活動中。	中央公民館
	グループ連携活動	公民館と図書館にはそれぞれボランティアグループやサークルがあり、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。	新規		事業開催回数		ボランティアグループの連携については、なかなか実現できていない。20年度はおはなしや手作りのグループと連携した行事を予定している。	市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
15	子ども文庫活動への支援と連携・協力	団体貸出、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などにより、子ども文庫の活動を支援する。豊中子ども文庫連絡会に対しては社会教育育成団体として補助金を交付する。また豊中子ども文庫連絡会と市立図書館が共催して「子どもと本のつどい」「子どもと本のまつり」を行う。 〔132、154をご参照ください。〕	継続		団体貸出冊数	図書館からの団体貸出 4,286冊	19年度豊中市には12箇所の子どもの文庫があり、図書館から選書・配本等で支援を受け活動している。おはなし会を定期的実施しているところも多く、地域において本があり集える場所として定着している。豊子連の「ふれあい講座」では、手づくりあそびや絵を描いたり自然とふれ合ったりする事業をした。豊子連講座としては、絵本作家等の講演会をした。「子どもと本のつどい」「子どもと本のまつり」は図書館との共催事業として、赤ちゃんに接する世代からYA世代に向けて、幅広く実施している。	子ども文庫豊中子ども文庫連絡会(豊子連)市立図書館
16	おはなしボランティア活動への支援	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 〔159にも掲載しています。〕	拡充		貸出冊数 ボランティア支援講座の回数 参加人数	おはなしボランティアグループへの貸出10,872冊。ボランティア講座8回のべ99人、フォローアップ研修講座2回115人。	18年度に開催した「子どもと本をつなぐボランティア講座」の受講者を対象に8回連続講座「子どもと本をつなぐボランティア講座フォローアップ編」を行った。また、活動を行っているおはなしボランティアを対象に「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を実施した。今後は講座の内容や回数など見直しを行うとともに、ボランティアの交流の場をつくり、地域でのネットワーク作りをすすめる取り組みが必要となる。	市立図書館
<p>「2年間に渡り講座で教わったことを元に基本に戻ることを大切にしながら、子どもたちのために絵本を手渡していけるよう、がんばりたいと思います。」「ストーリーテリングの実習は、本当にドキドキしました。もっと自分に合った素敵なおはなしを見つけて、自分のものにしておはなしが語れる素敵なおばあちゃんになったらいいなあと思います。」(「19年度子どもと本をつなぐボランティア講座フォローアップ編」の受講者アンケートより)</p>								

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体			
						実績	実施状況と課題				
17	地域ボランティア活動推進事業	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(留守家庭児童会)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 (72、91、160をご参照ください。)	継続		講座回数 参加人数	「高校生のためのボランティア講座」3回12人	読み聞かせボランティアとして活動するため、絵本や読み聞かせに関する高校生向けの講座を行い、地域での活動を支援している。また地域の読み聞かせボランティアに講師を依頼し、高校生と地域で活動しているボランティアとの交流の場ともなっている。今後は講座終了後の継続的な活動をサポートする体制が課題となる。(市立図書館)	地域教育振興課 市立図書館 おはなしボランティアグループ			
		中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(留守家庭児童会)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 (72、91、160をご参照ください。)					継続	講座回数 参加人数	3回12人	夏休みを利用して、高校生を対象にした「高校生のためのボランティア講座」を実施するほか、地域子ども教室やすこやかネット等のイベントに参加し、成果を披露した。昨年度と比較して参加人数が増加するほか、連続して参加する高校生もあり、継続的な事業展開が図られている。(地域教育振興課)	地域教育振興課 市立図書館 おはなしボランティアグループ
		最初はすごく緊張したけど、みんなの顔を見たらとってもかわいらしくてすごく楽しく読めたと思います。とても楽しかったのはもちろんですが自分ためにもなってすごく良い経験になりました。本番は子どもたちの笑顔を見て自然と自分も笑顔になりました。最後に「おもしろかった」と言ってくれて、すごくうれしかったです。不安でいっぱいだったけど、このボランティア講座に参加してよかったです。									
18	市民活動への支援	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。	継続				子どもゆめ基金助成活動のひとつで、「子どもと本のかけはし」主催の事業「内田麟太郎講演会」に関して、会場、資料などの提供を行なった。	市立図書館			

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
19	子育てサークルのリーダーへの研修	わいわい子育てミーティングの際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。	拡充		回数 参加人数	1回 大人86人 子ども59人	18年度に引き続き、わいわい子育てミーティングの際に絵本の選び方についてのミニ講座を実施した。	豊中市社会福祉協議会 市立図書館
20	校区福祉ボランティアの研修	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。	新規			1回 大人86人 子ども59人	わいわい子育てサークルミーティングに子育てサロンの支援ボランティアも参加し、学習の機会を持った。	豊中市社会福祉協議会 市立図書館
21	指導者講習での取り組み	指導者講習において子どもの本や図書館の紹介を取り入れる。	継続				時間いっぱい使った講習となることが多いため、本の紹介の時間をとれなかった。途中の休憩時間など、空いた時間をみて本や図書館の紹介を取り入れたい。講師の方のおすすめの本があれば紹介する。	青少年課 市立図書館